

特別委員会の活動

小方地域まちづくり対策特別委員会

本特別委員会は、市の発展に重要な役割を果たすと考えられる小方小・中学校移転後の跡地を中心とした小方地域のまちづくりについて積極的に議論するために昨年9月に設置されました。

第五次大竹市総合計画後期基本計画には、小方地区のまちづくり事業として「JR新駅を核とした魅力的なまちづくり」が掲げられています。

新駅設置に向けた動きが加速する中で、本特別委員会では、「和木駅設置の経緯とその後の効果について」をテーマに、平成28年2月23日、和木町役場にて先進地事例の調査・研究を行いました。

和木町では「平成8年にJRへ新駅の要望をしてから協定書締結まで10年余りと大変長い時間がかかっている」といった駅設置の過程や「請願駅の場合は維持管理や周辺のインフラ、道路整備を含めて100%地元負担となる」といった設置における財政面での課題、また「庁内に担当課を作り専門的な交渉をしていかないと話が進まない」

といった行政面での課題等について伺うことができました。

調査後の委員会では「住民サイドの盛り上がりに加え、市のほうの本気度が必要である」「駅と小方まちづくりは一体不可分なものではないか」「特別なセクションを設けて市の態勢づくりをしていくことをこの委員会から市のほうにお願いをしていく等、具体的に次に何をするのかということをしつかり協議をしながら進めていくべきである。スピード感を持った対応をしていく必要がある」といった意見がありました。

今後は他の市町の事例についても調査・研究しながら、委員会として、どういったことに取り組めばいいのかを検討していきます。



基地周辺対策特別委員会

昨年の9月に設置された本特別委員会では、月1回の会議の他、調査活動として各地に赴いて情報の共有を図っています。

○平成27年12月15日

阿多田島聞き取り調査

市内で最も航空機の騒音被害が大きいとされている阿多田島の自治会や漁協の皆さまから騒音や米軍機飛行の状況、日々の生活や漁業への影響などについてお聴きし、戦後70年間に及ぶ我慢や防音工事の不完全性などの実態を委員で共有しました。

国からの再編交付金は平成33年度までとなっているが、これに納得することなく国への要望活動を続けて欲しいとのご意見をいただきました。

○平成平成28年1月18日

岩国市議会行政視察

まさに米海兵隊基地が設置されている岩国市に、基地対策行政についてあらためて調査にうかがいました。

市基地政策課から説明があり、また、岩国市議会議長との意見交換をさせていただきました。岩国基地でのNLP（夜間着陸訓練）実施の可能性排除を申し入れつつ、財政支援を受けて安心安全対策を進めながら積極的に容認するべきと市長に進

言しているところであるとお話をうかがいました。

○平成28年2月16日

和木町議会との情報交換会

大竹市と同じ岩国市周辺自治体の取り組みを調査するため、隣接の和木町にうかがいました。

和木町では特に議会で専門の部署を設置していないため、和木町議長のお取り計らいで議員有志との情報交換となりました。

主には再編交付金の使途や平成33年度以降継続に向けての共同歩調について確認しました。また山口県と2市2町の連名で昨年8月に国に対し提出された「基地に関する要望書」の作成についてお話をうかがいました。

本委員会では、しばらくは委員会での調査を進めて情報の質の向上・共有を図り、今後、市民生活の安定と向上のために国への要望活動につなげていきたいと考えています。

